

講義コード	11C0112301	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	国際経済学2					神野 真敏		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	国際金融に関するフレームワーク、例えば、外国為替に対して様々なアプローチが存在すること、マクロ経済政策（金融政策と財政政策）が固定・変動為替相場制においてどのような影響を与えるか、あるいは最適通貨圏はどの程度なのかなど、国際金融に関係する議題について理論的に解説します。								
到達目標	外国為替レートがどのようなメカニズムで決定されているのかを理論的に説明できるようになる。 国際的な相互依存を考慮した経済モデルを利用して、国際政策協調の意義と限界、あるいは最適通貨圏などについて説明できるようになる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業で扱う内容に関して教科書や参考書を参照して予習してくる。 さらに、授業後は配布資料と教科書を照らし合わせ、知識の定着に勤めること。 上記の予習と復習に学外において60時間を費やすこと。								
授業計画	【第1回】 講義の概要－国際金融とは－ 【第2回】 経済学的視点からの国際金融 【第3回】 国民経済計算と国際収支合計 【第4回】 貨幣とマクロ経済 【第5回】 為替レートと外国為替市場 【第6回】 金利と為替レート 【第7回】 物価と為替レート 【第8回】 為替レートと実体経済 【第9回】 為替レートと開放マクロ経済政策（1） 【第10回】 為替レートと開放マクロ経済政策（2） 【第11回】 為替政策：為替介入と為替相場制度 【第12回】 通貨同盟と最適通貨圏 【第13回】 国際金融を取り巻く難問 【第14回】 為替レートの理論と現実：実証分析と為替レート 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	期末試験のみで評価します								
フィードバックの内容	適宜理解度を測る調査を行い、そのフィードバックを授業内にて行います								
教科書	『コア・テキスト 国際金融 第2版』藤井 栄次（新世社）2013								
指定図書									
参考書	『コア・テキスト 国際経済』大川 昌幸（新世社）2015、『国際経済学 国際貿易編』中西 訓嗣（ミネルヴァ書房）2013、『国際経済学入門 国際貿易編』ケイブズ・フランケル・ジョーンズ（日本経済新聞社）2003								
教員からのお知らせ	国際経済学1との併修が望ましい								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室にて対応します								
その他									